

【1】競技・審判上の注意

- 1 本大会は、令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
- 2 事前に棄権する場合は、各都道府県代表者が棄権届を関東バドミントン連盟・事務局長・久保田一浩へ提出してください。
試合開始前の棄権については、各都道府県代表者が棄権届けを該大会本部へ提出して下さい。
試合開始以降は、各都道府県代表者(代理人可)もしくは、当該プレーヤーがレフェリーにその旨を申し出てください。(いずれの場合も、棄権届用紙に必要事項を記載し、提出してください。) また、他の都道府県と組んでいる場合、両方から提出してください。
- 3 試合を棄権した場合、原則としてそれより後の同一種目及びエントリーしている他の種目全てにおいて出場できません。(ダブルスの場合、棄権したプレーヤーのパートナーは除く) 但し、棄権行為が本人または本人以外の者を有利にする目的でなく、正当な理由をもった棄権行為としてレフェリー(競技役員長)が判断した場合、レフェリーの判断により棄権後の他のエントリー種目に出場することを認めることがあります。(大会運営規程第4章第19条)
- 4 競技の品位を保つため、競技中は(公財)日本バドミントン協会の審査合格品の競技用ウェア・シューズを着用してください。着衣上の表示(文字列、広告、ロゴ、番号など)については、大会運営規程第24条を遵守してください。
上着の背面中央に都道府県名を明記してください。文字列の表示については大会運営規程第24条のとおりです。ゼッケンを使用する場合には縦15cm×横30cm程度の大きさとし、必ず四隅を固定してください。
- 5 試合の進行は、試合番号順に空いたコートから入れていきます。本部より試合のコール後、10分経過しても当該プレーヤーがコートに入らない場合は、レフェリーの判断により「棄権」とすることがあります。
- 6 試合が連続することになった場合は、原則として試合終了後、15分の間隔を置き、次の試合を始めます。
- 7 マッチ前のウォーミングアップ(練習時間)は、主審の開始指示に従い、初回戦のみトスの後、「ラブオールプレー」のコールまでの2分間とします。ダブルスの場合は、パートナーと、シングルスの場合は対戦相手プレーヤーと行ってください。コーチ等のヒッティングパートナーとの練習は認めません。
尚、練習シャトルは各自でご準備下さい。
- 8 審判構成は、主審、線審2名、得点表示係1名(線審と兼ねる場合がある。)とし、サービスジャッジは、原則として配置しません。但し、決勝は主審、サービスジャッジ、線審2名、得点表示係1名(線審と兼ねる場合がある。)で行います。
- 9 本大会は、敗者審判制とします。敗者となったプレーヤーは、当該コートで線審を担当してください。(何らかの理由により審判が不可な場合、本部に申し出下さい) シングルスの場合、不足する線審については、主催者側で行います。また、敗者審判の際は、体育館シューズ着用にご協力ください。
- 10 シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。また、使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。

- 11 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。
給水容器については、スクイズボトル等のフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。尚、トレイ・カゴ等は用意しませんので、タオル・ラケット・給水容器等については、全て各自のラケットバッグに入れ、主審台の横に置いて競技に支障のないよう管理してください。
クーラーボックスの持ち込み及びコーチ席への持ち込みは、認めません。なお、試合中の氷嚢の使用については、インターバルの時のみとします。
- 12 汗を手で拭い、コート内外(競技区域)に投げ落とす行為については、不品行な振舞いに相当するものとみなします。
- 13 試合中のけがや病気については、主審の判断によりレフェリーが呼ばれ、レフェリーがその後の判断をします。なお、試合中のけがや病気の応急処置は主催者で行いますが、その後の処置は、各自の責任とします。
- 14 各コートに、コーチ席を原則2席置きます。マッチ(試合)にふさわしい服装(ジーンズ、ハーフパンツ・七分丈は認めない)で臨んでください。競技区域でのモバイル機器(タブレット・携帯電話等)の使用は禁止します。
- 15 競技規則で認められたインターバル時に、競技区域に入れるのは、同時に2人までとします。
- 16 マッチ(試合)中のコートまたはコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項(4)の違反とみなされ、競技規則第16条第7項が適用されます。
- 17 レフェリーにより失格を宣告されたプレーヤーは、今大会でエントリーしているすべての種目において失格となります。
- 18 空気調節装置(エアコンディショナー)の使用に関しては、大会運営規程第16条によりレフェリーが判断します。
- 19 マッチが終了したら、勝敗に関係なく主審・サービスジャッジと握手するよう心がけてください。